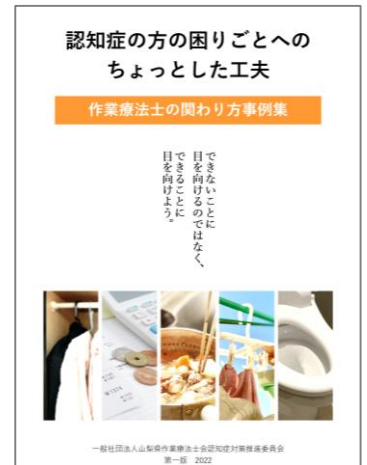


認知症に関する活動計画（概要）

当士会では、「山梨県の認知症支援に関して、作業療法士ができることを考え、実践する」をスローガンに、地域に向けた活動に重きを置いている。コロナ禍において、イベント等が行えなくなり、活動制限が大きく影響している。

認知症の方への作業療法士の関わり 事例集の作成

認知症対策推進委員会の委員を中心に、認知症の方への臨床での関わりの一部を事例集としてまとめた。今後、ホームページ等から士会員がデータで見られるようにすることや、市町村や地域住民等へ配布することを想定している。



士会員活動実績調査

士会員への認知症に関する活動実績調査を行った。認知症初期集中支援チームへの関わり、個別地域ケア会議への関わり、認知症カフェへの関わり、認知症の人と家族の会との関わり、地域での認知症関連講座講師、職場内での活動等に関して、活動実態を調査した。現在結果集計中。

オンラインでの啓発イベント開催（計画）

山梨県では、理学療法士会・言語聴覚士会とともに、リハ専門職団体協議会を設立しており、協議会の認知症委員会と作業療法士会が協働して、ドキュメンタリー映画「ばけますからよろしくお願ひします」のオンライン上映会を企画している。自宅での視聴だけでなく、サテライト会場も設けて、地域住民の方々の参加も促す予定。

地域での認知症啓発イベント協力

地域での認知症啓発イベントである、Run伴への協力参加は継続する予定で、スタート・ゴール地点のイベント会場で、ブースを担当する。